

# さいたま輝き荻野吟子賞

## 外科医吉野さんらに

県は30日、「第14回さいたま輝き荻野吟子賞」の受賞者を決定したと発表した。新座市の病院に勤務する外科医の吉野美幸さん(39)ら3人と、2事業所が選ばれた。表彰式は2月12日、さいたま市浦和区の知事公館で行つ。



吉野美幸さん  
(県提供)

同賞は本県(現熊谷市)出身で明治時代に活躍した日本初の公認女性医師・荻野吟子の不屈の精神を受け継ぎ、男女共同参画社会の推進に顕著な功績のある埼玉県ゆかりの個人・団体、事業所を表彰する。

吉野さんは、先駆的な取り組みで特に功績が著しい「きらきら輝き部門」で受賞。中学生の頃から途上国でのボランティア活動に関心を持ち、

2012年から国境なき医師団の活動に参加。1年のうち半年は新座志木中央総合病院に勤務し、残り半年は国境なき医師団の活動に充てている。18年から同医師団日本副会長。

40歳未満が対象の「さわやかチャレンジ部門」は、越谷市在住でウィルチェアー(車いす)ラグビー選手の倉橋香衣さん(28)と、さいたま市緑区在住で調教師の平山真希さん(38)が受賞。倉橋さんは女性初のウィルチェアーラグビー日本代表に選出され、18年の世界選手権で日本代表初優勝に貢献した。平山さんは00年に浦和競馬場で騎手デビュー。11年調教師試験に合格し、同年に管理馬初出走で初勝利を果たした。

「いきいき職場部門」では、自動車金型部品製造業のキャステック(加須市)と、農林・造園機器製造業のハスクバーナ・ゼノア(川越市)が選ばれた。(三宅芳樹)



2019年 1月31日 木曜日  
(平成31年)